

1. 重点課題に対する取り組みについて

(1) 事業所内の組織体制の見直し

ア. 外部環境

就労継続支援 B 型事業における利用者の平均年齢は高齢化していることなどから、中心的な業務であるストックヤードでの分別作業は、体力的にも厳しい状況になっています。また、マスクや作業服の着用および作業場の徹底した消毒など、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながらの分別作業となるため、身体への負担が大きいことから、B 型事業利用者の体力や障害特性を再確認し、各人の作業能力に応じた環境で日中活動に専念できるよう、定員の見直しが必要となりました。

イ. 重点課題に対する取り組み

就労継続支援 B 型の利用定員を 6 名削減し定員 18 名にするとともに、生活介護事業の定員を 6 名増員し定員 52 名に見直しました。これに伴い就労 B 型から生活介護へ職員の異動を行い、生活介護の常勤換算 1.7 の加算基準を満たす現職員数での対応を行いました。

(2) 行政や医療機関との連携強化

ア. 外部環境

65 歳以上の障害者につきましては、以下の状況になっています。

愛の浜園においては、利用者の滞留化のために平均年齢が徐々に高くなり、障害福祉施設であるにもかかわらず、介護を必要とする利用者が多数散見される現状にあります。

この状況は、本園だけではなく、奄美大島における障害者支援施設のほとんどが、同様の状況となっています。

このため、利用者の障害特性に応じたサービスの提供が難しいことや、現在、施設入所を希望している障害者の要望に応じられないなどの問題が発生しています。

イ. 重点施策に対する取り組み

65 歳以下の若年性認知症と診断された利用者が、急激な進行により突然異食行動など目が離せない状況となったため、対策会議を招集し、他の利用者への影響なども含めて協議を行いました。奄美市名瀬包括支援センターに要請して、認知症サポーターズ養成講座の園内開催を要請して、多くの職員で認知症に対する基本的な知識の習得と適切な対応を学びました。

利用者のご家族には、囑託医から認知症の急速な進行による起こる症状とともに、本園は認知症対応でないため、医療面でのケアを含め限られた支援しかできず、十分でないことを説明いたしました。

その後、この利用者は、体調を崩し 24 時間の医療行為が必要となったため入院、ご家族、医療機関および包括支援センターなどと協議した結果、介護保険制度を利用した看護介護を利用することとなり、本園を退所するとともに認知症専門医療機関へ移管することとなりました。

今後は、認知症が進行した高齢利用者に対して、行政や医療機関などと連携して、障害福祉サービスと介護福祉サービスの垣根を越えて支援できることが確認できたのは、大きな前進だと感じました。

2. 各事業所の取り組み

(1) <施設入所支援> 定員：40名

- ・新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、余暇活動（ドライブ、ビデオ鑑賞、カラオケ等）を実施しました。地域行事は、多くのが中止となり、開催されても限定された参加者となったため、参加することができませんでした。外出や外食は当初は見合わせていましたが、その後は感染対策を工夫しながら実施しました。

施設入所事業（前年比収入：+505,545円）

計 画	実施内容	反 省	課 題
<p>日常的な生活の支援（食事介助、入浴介助、排泄介助、余暇活動、相談等）を行いながら、充実した生活を送れるように安全、安心な生活を提供します。</p> <p>利用者の意思や健康面を大切にして、利用者およびご家族のニーズに対応するため、職員のスキルを高めるとともに、日中利用する事業との連携を図りながら支援します。</p> <p>ゆったりと楽しい環境の中で生活が送れるよう取り組みます。</p>	<p>施設入所定員 男性：20名 女性：20名 計：40名</p> <p>3月31日現在39名</p> <p>食事、入浴、排泄、歯磨きおよび移動の介助、見守り、声掛け等を行いました。</p> <p>生活に関する相談や助言を行いました。</p> <p>余暇の提供においては、外出、外食、カラオケ、ドライブおよびビデオ鑑賞を実施しました。</p> <p>支援目標達成のためのスキルアップ支援に取り組みました。</p> <p>利用者の高齢化、重度化に伴い介護用品を購入しました。</p> <p>毎日の検温や必要な利用者へのバイタルチェックを行いました。</p> <p>入浴後の身体チェックおよび軟膏塗布及び治療を行いました。</p> <p>洗濯支援および買い物支援を行いました。</p>	<p>利用者個々のニーズに合わせ、個別計画を作成しながら、地域の資源を活用した取り組みも行いました（デイサービス和月、奄美病院デイサービス、有料ヘルパーなどを利用）。</p> <p>余暇活動の充実させるためドライブ、ビデオ鑑賞、カラオケ等を実施するとともに、買い物や食事などでの外出を行い、利用者が安心して楽しく生活できるように工夫をして支援を行いました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、地域行事や地域との交流ができませんでした。</p>	<p>高齢の利用者や、重い病気を患っておられる利用者の支援をおこなうために、施設整備が整っていない個所を今後どのように改善していくのが課題です。</p> <p>今後の利用者対応のために、職員のスキルアップ研修や、介護ロボットの導入等が必要となります。</p>

(2) <生活介護事業> 定員：52名

班別活動（ミラクル班・サポート班・スマイル班・チャレンジB班）、生産活動（陶芸）、クラブ活動、レクリエーションおよびヘルスタイムを実施しています。外出支援は、新型コロナウイルス感染症対策のため、実施できない時期もありましたが、その後は感染症対策を考えて進めることができました。不特定多数の人が集まる場所への外出は控えました。園全体で軽い運動に取り組むため、10時半、15時半にラジオ体操を行いました。ボランティア活動では知名瀬海岸のゴミ拾いを行うとともに、外部講師によるジャンベ演奏活動や音楽療法など、利用者のニーズや希望に応じた支援を行いました。

生活介護事業（前年比収入：+28,701,990円）

計 画	実 施 内 容	反 省	課 題
<p>班別活動を中心に、クラブ活動、レクリエーション、外出支援および年間行事を計画し取り組みます。</p> <p>班別活動においては、運動、リハビリ、創作、農芸、洗濯および掃除など、利用者が楽しく、利用者の希望や能力が発揮できるように意欲的に過ごせるように支援します。</p> <p>高齢および重度の利用者の支援では、それぞれの体調に合わせ、施設入所事業所と連携を図りながら、外部資源も活用し、地域の行事に参</p>	<p>生活介護利用者 定員 52名</p> <p>生産活動、班別活動、全体活動、クラブ活動、ヘルスタイム、レクリエーション、美化活動、外出支援、ボランティア活動、年間行事を行いました。</p> <p>生産活動班では、手工芸、農芸、陶芸等を実施しました。</p> <p>陶芸班では陶芸の作品づくりを行いました。</p> <p>ミラクル班では、花苗の植え付け、花への水やり、就労B事業に向けての取り組み、グループホームに向けての取り組みを行いました。</p> <p>サポート班では、ウォーキング、生活支援、創作活動を行いました。</p> <p>スマイル班では、リハビリ、身嗜み、ドライブ等を行いました。全体活動として、美化活動、花の植え付け、年間行事へ参加しました。</p> <p>クラブ活動では、ドライブ、カラオケ、ウォーキング、レクリエーション、チャレンジを実施しました。</p> <p>ヘルスタイムでは、外部講師を招き健康体操を行うとともに、高齢利用者へのリハビリを実施しました。</p> <p>音楽の日では、外部講師による音楽活動を、レクリエーションでは、運動、歌や踊りをしました。</p>	<p>今年度は、定員を46名から52名に増やして取り組みを行いました。利用者のニーズに沿うように本人に合わせた活動や取り組みを個別に行いました。</p> <p>チャレンジB班を設け、就労Bに近い活動を取り入れました。内容も、就労Bとは違い、工賃支給日に外出し楽しみを持たせて取り組みました。</p> <p>日中活動では、外出支援等計画を立てましたが、新型コロナウイルスが発生したため、思うように外出ができませんでした。</p> <p>健康維持のため、朝礼時以外に、朝、夕にラジオ体操を取り入れ実施しました。</p>	<p>利用者の高齢化や重度化が進む中で、活動の取り組みをどうするのかが課題です、行事参加などにおいて、利用者の状況により内容を分けて取り組む必要があります。</p>

加するなど、利用者の希望やニーズに応えられるよう計画します。	<p>外出支援では、感染予防を徹底しながら、カット、外食、買物、カラオケ等利用者のニーズに応じた外出を行いました。</p> <p>ボランティアでは、知名瀬海岸の清掃、町内および県道のごみ拾い等を実施しました。</p>	<p>月1回の音楽療法やレクリエーションが充実し、利用者の楽しみになっています。</p>	
--------------------------------	--	--	--

①施設利用状況
[単位：人，日 () 書きは前年度実績]

	定員	在籍	欠員年間延日数	外泊者 年間延日数	12人 (24)
男	20	20 (20)	98		95日 (174)
女	20	19 (20)	94	入院者 年間延日数	6人 (5)
計	40	39 (40)	192		97日 (119)

②年齢構成
[単位：人，歳 () 書きは前年度実績]

	18歳以上	20歳以上	40歳以上	60歳以上	65歳以上	70歳以上	80歳	計	平均年齢
	20歳未満	40歳未満	60歳未満	65歳未満	70歳未満	80歳未満	以上		
男	0 (0)	8 (8)	8 (9)	3 (2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	20 (20)	48.4歳 (47.6歳)
女	0 (0)	5 (5)	5 (8)	4 (3)	1 (1)	3 (2)	1 (1)	19 (20)	55.9歳 (55.1歳)
計	0 (0)	13 (13)	13 (17)	7 (5)	2 (2)	3 (2)	1 (1)	39 (40)	52.15歳 (51.35歳)

③障害区分・施設入所
[単位：人 () 書きは前年度実績]

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男	0 (0)	0 (0)	1 (1)	4 (4)	6 (7)	9 (8)	20 (20)
女	0 (0)	0 (0)	0 (1)	5 (4)	5 (6)	9 (9)	19 (20)
計	0 (0)	0 (0)	1 (2)	9 (8)	11 (13)	18 (17)	39 (40)

④障害区分・生活介護

[単位：人（）書きは前年度実績]

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男	0 (0)	0 (0)	4 (3)	8 (5)	13 (14)	12 (8)	37 (30)
女	0 (0)	0 (0)	2 (3)	5 (5)	9 (7)	11 (9)	27 (24)
計	0 (0)	0 (0)	6 (6)	13 (10)	22 (21)	23 (17)	64 (54)

(3) <就労継続支援B型事業> 定員：18名

就労継続支援B型事業（前年比収入：△9,265,772円）

計 画	実 施 内 容	反 省	課 題
<p>[目的]</p> <p>障害者総合支援法に基づき、通常の事業所に雇用されることが困難な障害者に生産活動の機会を提供するとともに、生産活動を通じて、その知識及び能力の向上に必要な訓練等の福祉サービスを供与することを目的とします。</p> <p>[活動内容]</p> <p>(生産活動)</p> <p>施設内外の生産活動を通じ、知識及び能力の向上や生活リズムの安定を目的とした支援を行います。</p> <p>(相談支援)</p> <p>定期的にモニタリングを実施し、個別支援計画をニーズに沿って作成します。また、日常生活、対人関係、健康面の相談支援を行い</p>	<p>4月中旬から6月末まで新型コロナウイルス感染症対策のため、ストックヤードにおける利用者の作業を中断し、農作業など園内等での作業に取り組みました。委託先の大島地区衛生組合と協議を行い、この間のストックヤードの作業は就労職員のみで取り組みました。7月以降は、感染症対策を講じたうえで、利用者の作業参加を再開しました。</p> <p>知名瀬港環境施設清掃では、週3回のトイレ清掃および約2か月に1回草刈作業を行いました。</p> <p>手芸作業では、主に七夕飾り作成を中心に行い、その他で陶芸、大島紬織などに取り組みました。</p> <p>地域の皆様からの依頼があり、パッションフルーツ果実磨き作業や住宅の除草作業に取り組みました。</p> <p>コロナ禍のため、地域との交流行事としてのレクリエー</p>	<p>令和2年度の定員18名に対し、現員は14名でした。利用者が増えるよう対策を講じる必要があります。</p> <p>パッションフルーツの売上が前年度を大きく下回りました。栽培方法などを根本的に見直す必要があります。</p>	<p>利用定員18名を満たすため、相談支援専門員などと連携して、利用者に対し魅力のある事業所にしていくために、新たな取り組みを検討していく必要があります。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が拡大しているなかでの作業、とくに施設外就労時に、しっかりとした感染症対策を継続して行っていくことが必要です</p>

<p>ます。6ヶ月度に工賃評価を行います。</p> <p>(余暇活動・レクリエーション)</p> <p>桜の花見や旧桃の節句行事など利用者が楽しめる季節に応じた行事を企画し実施します。また、地域の住民を招いてのグランドゴルフ大会を実施し、交流を図ります。</p>	<p>ションは全て中止となりました。</p> <p>花見などの園内行事については、感染症対策を十分に行ったうえで実施しました。</p> <p>就労B事業のリーフレットや作業風景動画を作成し、自立支援協議会相談部会の中で本園の事業をPRしました。</p>		
---	--	--	--

(4) <短期入所・日中一時支援>

在宅で生活している利用者、ご家族の負担軽減や、緊急時等に安心して利用いただけるように体制を整えながら、日中、夜間における一時的な見守りや日常的に支援が必要とされる利用者のご家族の負担軽減、また本人の社会との繋がりや居場所がない場合の支援の受入を行います。

短期入所(前年比収入: +1,647,749 円) 日中一時(前年比収入: +72,339 円)

計 画	実施内容	反 省	課 題
<p>在宅で生活している利用者、ご家族の負担軽減や緊急時等に気軽に安心してご利用頂けるように体制を整えます。</p> <p>障害者の日中における一時的な見守りや日常的に支援が必要とされる利用者のご家族の負担軽減、また本人の社会との繋がりや居場所がない場合の支援の受け入れを行います。</p> <p>利用者様のニーズにあった日課や余暇活動を提供します。</p> <p>短期入所は個別支援計画に基づき支援に取り組みます。</p> <p>必要に応じて家族と連絡を取り合い、ニーズに応じた取り組みを行います。また余暇の希望を聞いて充実した余暇を提供します。</p> <p>毎日体調確認を行い、体調不良時や施設での感染症発生時には、その都度家族と連絡を密にして対応いた</p>	<p>短期利用実績</p> <p>利用日数： 延べ 1340 日 男性 8 名 女性 5 名</p> <p>日中一時利用実績</p> <p>利用日数： 延べ 326 日 男性 4 名 女性 2 名</p>	<p>利用者の支援に対しご家族から苦情があり、ご自宅を訪問し謝罪を行いました。</p> <p>短期を利用希望者が多数おりましたが、職員の配置や長期シヨートがいる事でお断りする事もありました。</p> <p>短期利用は途絶えることなくご利用いただきました。</p>	<p>短期を兄弟で利用したいが、定員枠がなく、利用できない。</p> <p>・職員の配置が足りなく、短期が利用出来ない。</p>

します。 施設見学等があれば調整して対応 します。 利用者の健康面や安全面に留意し ます。 カメラなど預り品のチェックをし て、利用者の私物の保管、管理を行 います。			
--	--	--	--

短期入所、日中一時支援の利用状況			
[単位：人, 日 () 書きは前年度実績]			
	契約人数	利用延日数	理 由
短期入所	13	1,551	在宅での生活が難しい方の利用（安全面の確保など）
	(12)	(1,340)	家族の虐待対応ケース
日中一時支援	6	360	ご家族の介護の軽減
	(5)	(357)	本人の希望

(5) <フレンド> 定員 22 名

活動報告

町内会行事、地域の行事は新型コロナウイルス感染防止対策のため、中止となり参加は見送られました。

毎月、世話人および支援員の会議、利用者の自治会を開いて、利用者の支援、グループホーム全体での問題点などを話し合い、改善点および支援方法を共有しました。利用者からの食事メニューの要望などを献立にできるだけ取り入れ、改善を図りました。

新型コロナウイルス感染症防止のため、行事などが中止となるなか、余暇支援（外食、買物）を実施して、余暇時間を楽しめるようにしました。

（前年比収入：+1,281,620 円）

計 画	実施内容	反 省	課 題
<p>共同生活の場において、食事の提供、相談その他の日常生活の援助を行うことにより、自立した生活ができるよう支援します。</p> <p>日常生活の援助については、世話人、支援員、各事業所間の連携を図りながら支援します。</p> <p>余暇支援、外出支援、地域の行事などへ積極的に参加し、地域の一員としての自覚をもって生活できるように支援を行います。</p> <p>利用者の社会参加、自立した生活をめざし、個々に応じた支援計画に沿って生活力を向上させることができるように支援します。</p>	<p>地域行事、イベント等は、コロナウイルス感染症防止のため中止のため、不参加となりました。</p> <p>毎月、世話人および支援員との全体会議を実施して、利用者支援、ホーム全体の管理、問題点などを話し合い、改善点などを共有して、支援に取り組みました。</p> <p>利用者の自治会を開き、利用者からの食事メニューやグループホームへの要望などを聞き取り、対応できる範囲で改善しました。</p> <p>利用者の健康管理のために、健康診断、定期の病院受診、がん検診、インフルエンザ予防接種、胃カメラおよび大腸ファイバーによる検査等を実施しました。</p> <p>個別支援計画書に沿った支援を行いました。半年に1回モニタリング会議を実施しました。</p>	<p>事故およびヒヤリハット事案が発生しました。</p> <p>確認不足による定期服薬の漏れや火傷、ケガなど治療を要した事案もありました。予約する際の確認を徹底し、事故につながらないように話し合いを重ね、職員の意識向上に努めました。</p> <p>利用者の1名が精神的に落ち着かなくなり、長期入院を要しました。</p> <p>令和3年1月14日にグループホームフレンド3で火災が発生し建物が全焼しました。</p>	<p>健康管理、夜間帯における体調不良時の支援が課題であるため、施設夜勤支援者への支援、申し送りを行っています。</p> <p>服薬管理については、薬のセットの確認、与薬時の確認を徹底します。</p> <p>余暇支援、外出支援</p> <p>利用者間の人間関係がうまくいくよう見守ることが必要です。</p> <p>利用者が高齢化しており、これまでより多くの支援が必要となります。</p> <p>フレンド3を再建するとともに、その間の利用者の情緒面や生活面での支援が課題です。</p>

(6) <指定特定相談支援事業「ていだ」>

(前年比収入：△1,416,200円)

計 画	実 施 内 容	反 省	課 題
<p>・現在契約しているお客様に対して相談や訪問、信頼関係の保持。</p> <p>・地域との連携 (担当者会議へ</p>	<p>令和2年度実績</p> <p>新規利用 12件</p> <p>更新計画 99件</p> <p>モニタリング 277件</p> <p>請求額 7,827,440円</p> <p>新規利用は12件ありました</p>	<p>職員の意識として、現状に満足せず様々な相談に真摯に取り組み、契約者と向き合うことができました。</p> <p>また、利用者個別の担当制を持たず、職員全員で考えて支援に取り組むことで、相談</p>	<p>相談員の配置 人数と業務量 の関係から、 今後も利用契 約件数を増加 させても対応 できるのか見</p>

の参加、相談部 会への参加) ・地域貢献（契 約者以外の対 応) ・相談支援事業所 の3名体制の加算 (1件につき300 P)の継続。	が、年度末の利用件数は167 件となりました。新規契約者 が増えたものの、体調不良で 事業所に通えない、事業所を 急に利用しなくなるなどのケ ースも見られるなど利用者の 状況で変動が見られたため利 用件数は伸びませんでした。	員としてのスキルアップやチ ームとしての能力向上、困難 ケースの情報および対処方法 の共有、職員間のコミュニケ ーション、人材育成につなが りました。	極めが必要と なります。 現在の利用者 についても引 き続き丁寧な 対応が必要と なります。
---	---	--	--

(7) <実習受入れ>

奄美看護福祉専門学校及び大島養護学校の実習を受入れました。

※奄美看護福祉専門学校の第一回の実習は当初女性2名の予定でしたが、男性1名が追加され3名を受け入れました。体調不良の為、本人及び学校側からの要望で実習は中止となりました。

※大島養護学校の実習は、6月15日～6月17日にも女性1名を受入れ予定でしたが、実習生が帰省中のため中止となりました。

実習生所属先	実 習 期 間	人 数	計 (延人数)
奄美看護福祉専門 学校	6月22日～7月6日 (10日間)	男性1名、女性2名	30名
	7月6日～7月16日 (10日間)	男性1名、女性2名	30名
大島養護学校	6月22日～6月26日 (5日間)	女性1名	5名
計		7名	65名

(8) <保健衛生>

コロナ禍で前年度より歯科受診の回数は減りましたが、定期的な口腔内の把握、ケアを継続できました。早期に感染症予防対策委員会で情報共有、対策を話し合い、利用者の感染症の発生はありませんでした。また、ウイルス性の風邪も、前年度に比べ激減いたしました。

個々の利用者の病状に合わせた緩和ケアに向けて、受診等を実施しています。

令和2年度通院および入院治療の状況

(数値は年間延べ人数)

診療科	内科	精神科	整形外科	脳外科	外科	耳鼻科	皮膚科	眼科	歯科	婦人科	泌尿器科	合計	
通院治療	令和2年度	149	518	4	1	12	13	84	70	331	6	7	1,195
	令和元年度	191	441	30	1	16	26	60	51	549	4	3	1,372
	増 減	△ 42	77	△ 26	0	△ 4	△ 13	24	19	△ 218	2	4	△ 177
入院治療	令和2年度	11	2	0	0	0	0	1	1	0	0	1	16
	令和元年度	7	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	11
	増 減	4	1	△ 1	0	△ 2	0	1	1	0	0	1	5

2. 相談・苦情解決

計 画	実 施 内 容	反 省	課 題
<p>利用者のサービスに関する相談や要望を真摯に受け止め、誠意をもって迅速に対応します。</p> <p>施設入所、グループホームの自治会や日常生活の中で、利用者と会話をする機会を設け、困りごとや相談事が解決できるよう努力します。</p>	<p>令和2年度件数：11件 苦情内容 入浴時に顔にお湯がかかり嫌だった（身体障害：車椅子） グループホームで隣の部屋の利用者が夜中にうるさくて眠れない。 たこ焼きが食べたい フレンド専用の公用車がほしい。 フレンドの畑で野菜を作りお金を設けて買いたい。 ジュースの自販機をフレンドにも設置してほしい。 サンドイッチが食べたい みんなで食事に出かけたい お好み焼きが食べたい チキンが食べたい ラーメンが食べたい。</p>	<p>利用者のニーズと相談の判断が困難です。 相談の報告があった時には、改めて本人や関係者から聞き取りを行って対応しました。 もっと利用者からの相談を聞くことができる時間を設けてもよいのではないかと感じました。</p>	<p>相談・苦情を収集する手法を考える必要があります。そのために、各部署に聞き取りを行い対応します。</p>

4. 防災

計 画	実施内容	反 省	課 題
<p>年度初めに年間訓練計画を策定し、計画に沿った防災訓練を毎月実施します。</p> <p>年2回（6ヶ月の間隔を置く）の総合防災訓練（うち1回は消防署立会い）を行います。</p> <p>そのほか、様々な災害等（火災、地震、津波、風水害、不審者侵入）を想定し避難訓練を行います。</p> <p>火災の避難訓練においては、早朝、日中、夕方、夜間など様々な時間を想定した訓練を行います。</p> <p>年2回、グループホームフレンド利用者を対象とした避難訓練を行います。</p> <p>避難訓練を実施した後は、反省会を行い、協議された改善点を次回以降の訓練に反映させていきます。</p> <p>毎月園内およびグループホームの安全点検を実施します。</p> <p>緊急時には福祉避難所として多目的ホールを開放し、地域住民の受け入れを行います。</p> <p>不審者発見時は、園内での情報の伝達を迅速に行い、利用者の安全を確保します。防犯カメラやさすまた等を活用しながら、警察や警備会社との連携を図り対処していきます。</p> <p>年1回、施設内で職員を対象とした救急救命講習を実施します。</p> <p>AEDを常設します。日本全国AEDマップに登録し、必要な時には貸し出しを行います。</p>	<p>防災訓練を以下のとおり実施しました。</p> <p>普通避難訓練7回（早朝：1回、日中：4回、夜間：2回）</p> <p>総合防災訓練2回（自主訓練：1回、消火訓練：1回）</p> <p>消防署員は、コロナ感染症対策のため不参加</p> <p>地震・津波対策訓練2回</p> <p>風水害訓練1回</p> <p>グループホームフレンド避難訓練2回</p> <p>不審者対策訓練1回</p> <p>令和3年1月グループホームで火災が発生したため、被災後に検証会議を複数回開催し、今後の対策等を決定しました。</p> <p>複数回防災担当職員の会議を行い、避難訓練や防災についての協議を行いました。</p> <p>元消防署員で救急救命士の資格を保持する町内会長を招聘して救急救命講習を行いました。</p> <p>下水清掃を毎週行いました。</p> <p>毎月安全点検を実施し、その都度必要な補修等を行いました。</p> <p>必要な災害用品を購入しました。</p> <p>台風10号接近時に奄美市の依頼を受けて福祉避難所を開設し、地域住民2名の避難受入を行いました。</p>	<p>令和3年1月にグループホームフレンド3で火災が発生しました。</p> <p>夜間の火事で全損全焼しましたが、一人のけが人を出すことなく避難を行うことができました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、外部からの講師を招いての避難訓練などを実施することができませんでした。</p> <p>グループホームフレンド3で火災が発生したため、グループホームの避難訓練が延期となり、年度末に2回行うこととなりました。</p>	<p>グループホーム火災の教訓から、安全点検を毎月建物内および構内で実施することとします。</p> <p>愛の浜園およびグループホームフレンドともに、年間の訓練計画を立案し、計画に沿った防災訓練を実施します。</p> <p>福祉避難所開設時には、奄美市の情報連絡体制を整え、迅速に避難した市民を受け入れできるように取り組みます。</p>

5. 会議及び研修

職員のスキルアップやサービスの制度についての知識を高めるために研修を行い、職員の質の向上に繋がりました。研修会等に参加できない職員への資料配布あるいは申し送り等、全員への周知徹底を図りました。

計 画	実 施 内 容	反 省	課 題
4月：人権の研修 職員が入職したらその都度研修を行う 5月：園内新任職員研修 感染症対策研修 6月：看取りの研修 救急講習会 7月：自家発電機使用方法研修 8月：リハビリ研修 9月：感染症対策研修 10月：おむつの研修 11月：腰痛対策研修 12月：感染症対策研修 1月：リハビリ研修 2月：大島地区合同研修 危機管理講習会 3月：今年度の反省 新年度に向けて研修	4/27 障害者虐待防止権利擁護研修報告 人権擁護、差別解消、虐待防止 6/11 新任職員研修 6/26 処遇改善加算、特定処遇改善加算の支給方法について研修 7/27 救急救命講習 8/27 新型コロナウイルス対応研修 福祉事業計画研修 9/27 小川医師による新型コロナウイルス感染症予防研修 10/27 奄美豪雨から10年体験研修 11/27 奄美豪雨職員体験談 労働環境と健康管理に関する研修 1/25 重度障害者の就労を考える研修 1/28 障害者雇用に関する研修 2/17 新任職員研修 2/18 映像で見る接触嚥下障害の研修 2/18 認知症サポーター養成講座研修 2/23 介護ロボット研修 3/2, 3/8 障害者虐待防止権利擁護研修	新型コロナウイルス感染症防止のため、出張研修がほとんど開催されず、多くの場合オンラインの研修が行われた。 園内でオンライン研修ができたことで、多くの職員が受講できるメリットもあった。 新型コロナウイルス感染症関連で、BCP協議、机上訓練、医師による研修と防護服の着脱など感染防止に向けて繰り返し研修を実施した。 また、奄美豪雨災害から10年目の節目であったため、実際に救助の指揮をとった地域在住の元消防職員を講師に招き、防災研修に強化した。この研修で今後の課題も見つかり、職員の防災意識も高まった。 認知症に対する研修を実施したことで、職員の対応や、本園の役割や医療、介護との連携の手法が見えてきた。	職員のスキルアップだけでなく、障害者福祉制度の内容、職員の意識向上、本園の抱える課題に対応した研修を継続して実施していくことが必要である。

6. 年間行事

利用者の高齢化等に伴い、行事に参加できない利用者も散見されました。

月	日	内 容	備 考
4月	1	新年度事業開始	施設入所 40名 生活介護 52名 グループホームフレンド 22名 就労B事業所 22名
5月	1 3	創立記念日 面会日	記念日を祝う（紅白まんじゅう提供） 辞令交付式 年間努力賞 新型コロナウイルス感染防止のため中止 ご家族へ資料配布
6月	4 1 6	一日遠足 〃 グラウンドゴルフ大会 知名瀬町内会 敬老会	住用村 山間 マングローブパーク 就労B 23名参加 大浜海浜公園 途中雨天で帰園し園内で弁当 生活介護 85名参加 新型コロナウイルス対策のため今年度は中止 新型コロナウイルス対策のため今年度は中止
7月	18	愛の浜園納涼大会 夕涼み会に変更	新型コロナウイルス対策のため、内容を縮小し、園内で利用者、職員で夏の季節を楽しんだ。参加者 127名
8月		奄美祭り花火見学	新型コロナウイルス対策のため今年度は中止
9月		町内会豊年祭相撲見学 敬老会（園内）	新型コロナウイルス対策のため今年度は中止 新型コロナウイルス対策のため写真撮影のみ 10名参加 食堂にておやつ提供
11月		大島地区ゆうあيسポーツ大会 感謝祭	新型コロナウイルス対策のため今年度は中止 新型コロナウイルス対策のため今年度は中止 年度末に愛地蔵（陶芸と紬の置物）を町内の皆様方に送付
12月	11 12	クリスマス・忘年会 御用収め	新型コロナウイルス対策のため、場所を多目的ホール、食堂、就労B作業所に分散して開催 130名参加 力強く餅をつき、新年を迎える準備を行う 多目的ホール 99名参加 ・
1月	6 14 30 30	御用始め 年の祝い園内餅つき 花見遠足 花見ドライブ	丑年生まれをお祝い、餅つきパフォーマンス 多目的ホール 食堂 93名 春の訪れを感じながら花見をする（就労B） 崎原～大和村 花見を楽しみながら季節を感じる（生活介護） 活動班別で行う